

マツゲン箕島硬式野球部 監督の西川忠宏です。



日頃から、マツゲン箕島硬式野球部に温かいご声援を頂きありがとうございます。

未だに収束が見えない新型コロナウイルスに悩まされ早や3年の月日が過ぎ、感染拡大が第8波に入ったとされる中、以前のような行動制限をすることはなくなり、また新薬が承認されるなどウイズコロナの時代に突入し、新しい生活様式に変わりつつあります。

社会人野球におきましても、今まで培った新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、感染予防対策を徹底しながら各大会が開催され、第46回全日本クラブ選手権大会では西近畿地区予選での敗退と今までない屈辱を味わい、スタッフ、選手一同が猛省し、「慢心がなかったのか?」「試合に挑む準備が出来ていたのか?」「思い込みがなかったのか?」と自問自答の日々が続きましたが、練習再開後には、「目標・振り返り・チェック・修正」を掲げ練習後にはミーティングを行い、「勝ちに拘る強い気持ち」で前に進み出しています。

また、恩師で尾藤公監督から教えて頂いた「あきらめない心」、「不屈の闘志やたゆまぬ努力」、「信じることの大切さ」を胸に抱き、来年こそ「都市対抗野球大会出場&全日本クラブ選手権大会6度目の優勝&社会人野球日本選手権大会での勝利」の目標実現に向け、選手一人一人が自覚を持って日々練習に励むとともに、地域の皆様からの要望に応える形の貢献活動や各種スポーツ大会へのボランティア活動を引き続き行っていきます。

私自身もこれまで以上に闘志を奮い立たせ、「常に挑戦者」の思いを持って猛練習を積みかさねていく所存でございます。

選手達には引続き「仕事も人一倍、野球も人一倍頑張っってやっと認めてもらえるんだ」を指導方針として掲げ、仕事と野球の両立を目指して頑張っっていきますので、来期も引き続き温かいご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの完全なる終息を願いつつ、皆様におかれましては、なお一層のご自愛をお祈り申し上げます。

